

共に生きる会主催

# 「語りと映画で知る『ストーマ』のこと」



## 【真山亜子さんプロフィール】

1958年岐阜県生まれ。16歳で良性腫瘍、27歳で壊死性筋膜炎、32歳でクローン病とパーチェット病という2つの難病に。2002年3月大腸と小腸の一部を切除して、ストーマ保持者（オストメイト）になる。

大学卒業後、劇団活動を経て、28歳から「水原リン」の芸名で声優として活躍。オストメイトになってから現在の芸名「真山亜子」に改名。主な作品に人気テレビアニメ『ちびまる子ちゃん』の杉山君役、『忍たま乱太郎』の乱太郎の母役、『ONE PIECE』ニヨン婆やココロ役、吹き替えでは『E.T.』の2代目E.T.、『ER緊急救命室』看護師ヘレ工役など。

2004年4月に創作民話紙芝居『あっこりやまた一座』を岡田潤さんと立ち上げ、江戸人情噺や民話など、情感込めた「語り」の舞台にも立つ。ブーケ（若い女性オストメイトの会 <http://www.bouquet-v.com/>）サブスタッフとして、ストーマ体験を患者会などで語る啓発活動にも尽力している。

## ※ストーマ

病気などで機能を果たせなくなった腸や尿道の代わりに手術で腹部につくる排泄物の出口。人工肛門と人工膀胱がある。意思によって排泄を止めることはできないため、パウチという袋状の装具を着け、排泄物を受け止める。

## 【上映作品】①

『あなたの家』（2008年、山川公平監督作品。カラースタンダード、43分）

〈受賞歴・招待も含む〉

ぴあフィルムフェスティバル2010グランプリ、水戸短編映像祭2009準グランプリ、第23回東京国際映画祭「日本映画・ある視点部門」、ロッテルダム国際映画祭2010フォーラム部門。

〈あらすじ〉

木造モルタルアパートで暮らす老夫婦。慣れないストーマとの付き合いが始まり、夫の介護と貧困に疲弊する妻キミコ。大阪のおばちゃんならではの派手好きな服と生活臭のミスマッチが不思議な魅力を押し出し、逆境のど根性を光らせる。

※ 作品は、NPO法人 SIUP（ストーマ・イメージアップ・プロジェクト <http://www.siup.jp/>）の監修を受けました。当日は、同団体作成「ストーマ読本」とブーケの会からの小冊子をお配りします。



## 【上映作品】②

『Home Nurse～訪問看護の時間～』

（2020年、当団体副代表 谷進一監督作品、聾宝手話映画、20分）

在宅で自分らしく暮らす人々を支援する、手話ができる新人訪問看護師のある一日を描く。便秘、ストーマ、糖尿病、終末期看護の利用者さんが登場する短編。第16回さがの映像祭ほかで上映。

※来年の事業は、谷監督の新作手話映画上映を計画しています。よく使う手話を聾者の小川和久さんのイラストでリーフレットにしました。ご利用いただければ幸いです。

※一緒に活動して下さる仲間を募集中。お問い合わせは「共に生きる会」代表 太田文代まで お願いいたします。電話075-803-0033  
ファクス 075-803-0034 電子メール [fumiyo@toyfilm-museum.jp](mailto:fumiyo@toyfilm-museum.jp)  
Facebook : <https://www.facebook.com/fumiyo.ota.7>  
ブログ <http://tomoniikirukai.blog.jp/>

第1部 = 12時30分開場、13時開演～15時30分終演

第2部 = 16時30分開場、17時開演～19時30分終演

# 共に生きる会

協力：NPO法人ストーマ・イメージアップ・プロジェクト（SIUP）、聾宝手話映画、ブーケ（若い女性オストメイトの会）、朱一学区民生児童委員協議会、  
後援：社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会